

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
**(仮称)エディオン倉庫店 新築工事**

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート 実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.7</b>
<b>Q1 室内環境</b>					<b>0.40</b>			<b>3.1</b>
<b>1 音環境</b>				<b>3.2</b>	<b>0.15</b>			<b>3.2</b>
1.1 室内騒音レベル				<b>3.0</b>	<b>0.40</b>			
1.2 遮音				<b>3.0</b>	<b>0.40</b>			
1 開口部遮音性能				<b>3.0</b>	<b>1.00</b>			
2 界壁遮音性能				<b>3.0</b>				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				<b>3.0</b>				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				<b>3.0</b>				
1.3 吸音		グラスウールを計画した。		<b>4.0</b>	<b>0.20</b>			
<b>2 温熱環境</b>				<b>2.6</b>	<b>0.35</b>			<b>2.6</b>
2.1 室温制御				<b>3.0</b>	<b>0.50</b>			
1 室温				<b>3.0</b>	<b>0.50</b>			
2 外皮性能				<b>3.0</b>	<b>0.17</b>			
3 ゾーン別制御性				<b>3.0</b>	<b>0.33</b>			
2.2 湿度制御				<b>1.0</b>	<b>0.20</b>			
2.3 空調方式				<b>3.0</b>	<b>0.30</b>			
<b>3 光・視環境</b>				<b>3.0</b>	<b>0.25</b>			<b>3.0</b>
3.1 昼光利用				<b>3.0</b>	<b>0.50</b>			
1 昼光率				<b>3.0</b>				
2 方位別開口				<b>3.0</b>				
3 昼光利用設備				<b>3.0</b>	<b>1.00</b>			
3.2 グレア対策				<b>3.0</b>				
1 昼光制御				<b>3.0</b>				
3.3 照度				<b>3.0</b>				
3.4 照明制御				<b>3.0</b>	<b>0.50</b>			
<b>4 空気質環境</b>				<b>4.0</b>	<b>0.25</b>			<b>4.0</b>
4.1 発生源対策				<b>5.0</b>	<b>0.50</b>			
1 化学汚染物質		F★★★★の内装建材を使用した。		<b>5.0</b>	<b>1.00</b>			
4.2 換気				<b>3.0</b>	<b>0.30</b>			
1 換気量				<b>3.0</b>	<b>0.50</b>			
2 自然換気性能				<b>3.0</b>				
3 取り入れ外気への配慮				<b>3.0</b>	<b>0.50</b>			
4.3 運用管理				<b>3.0</b>	<b>0.20</b>			
1 CO <sub>2</sub> の監視				<b>3.0</b>	<b>0.50</b>			
2 喫煙の制御				<b>3.0</b>	<b>0.50</b>			
<b>Q2 サービス性能</b>					<b>0.30</b>			<b>3.3</b>
<b>1 機能性</b>				<b>3.6</b>	<b>0.40</b>			<b>3.6</b>
1.1 機能性・使いやすさ				<b>3.0</b>	<b>0.40</b>			
1 広さ・収納性				<b>3.0</b>				
2 高度情報通信設備対応				<b>3.0</b>				
3 バリアフリー計画				<b>3.0</b>	<b>1.00</b>			
1.2 心理性・快適性				<b>3.0</b>	<b>0.30</b>			
1 広さ感・景観				<b>3.0</b>	<b>0.33</b>			
2 リフレッシュスペース				<b>3.0</b>	<b>0.33</b>			
3 内装計画				<b>3.0</b>	<b>0.33</b>			
1.3 維持管理				<b>5.0</b>	<b>0.30</b>			
1 維持管理に配慮した設計		防汚性の高い建材を計画した。		<b>5.0</b>	<b>0.50</b>			
2 維持管理用機能の確保		清掃用具用の洗い場を設置した。		<b>5.0</b>	<b>0.50</b>			
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>3.0</b>	<b>0.30</b>			<b>3.0</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振				<b>3.0</b>	<b>0.50</b>			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				<b>3.0</b>	<b>1.00</b>			
2 免震・制震・制振性能								
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>3.0</b>	<b>0.30</b>			
1 躯体材料の耐用年数				<b>3.0</b>	<b>0.20</b>			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				<b>3.0</b>	<b>0.20</b>			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				<b>3.0</b>	<b>0.10</b>			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				<b>3.0</b>	<b>0.10</b>			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				<b>3.0</b>	<b>0.20</b>			
6 主要設備機器の更新必要間隔				<b>3.0</b>	<b>0.20</b>			
2.4 信頼性				<b>3.2</b>	<b>0.20</b>			
1 空調・換気設備		部分的被害が起きないように配慮した。		<b>4.0</b>	<b>0.20</b>			
2 給排水・衛生設備				<b>3.0</b>	<b>0.20</b>			
3 電気設備				<b>3.0</b>	<b>0.20</b>			
4 機械・配管支持方法				<b>3.0</b>	<b>0.20</b>			
5 通信・情報設備				<b>3.0</b>	<b>0.20</b>			

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.3</b>	0.30		-	<b>3.3</b>
3.1 空間のゆとり			4.2	0.30		-	
1 階高のゆとり		売り場を3.98mとした。	5.0	0.60	3.2	-	
2 空間の形状・自由さ			3.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20		-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.30		-	<b>1.7</b>
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40		-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30		-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			1.0	0.50		-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>							<b>3.4</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40		-	<b>3.7</b>
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPIを0.82とした。	4.0	0.20		-	4.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10		-	3.0
3 設備システムの効率化		[BEI][BEIm] = 0.75	4.0	0.50		-	4.0
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50		-	
集合住宅の評価						-	
4.1 モニタリング						-	
4.2 運用管理体制						-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>				0.30		-	<b>3.3</b>
1 水資源保護			3.0	0.20		-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.4	0.60		-	3.4
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		磁器質タイル、ビニル系床材	4.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上げ材を容易に分別できるように計画した。	5.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.20		-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用		F★★★★を計画した。	5.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70		-	
1 消火剤			-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)			-	-		-	
3 冷媒			3.0	1.00		-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30		-	<b>3.1</b>
1 地球温暖化への配慮		一般的な計画とした。	3.8	0.33		-	3.8
2 地域環境への配慮			2.6	0.33		-	2.6
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.7	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制		適切な量の駐車台数を計画した。	5.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制		十分なストックスペースを計画した。	4.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			2.8	0.33		-	2.8
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1 騒音			3.0	0.33		-	
2 振動			3.0	0.33		-	
3 悪臭			3.0	0.33		-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	
1 風害の抑制			3.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制				-		-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			2.3	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			2.0	0.70		-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30		-	